

# 10月

## 交通死亡事故発生注意報(予報)



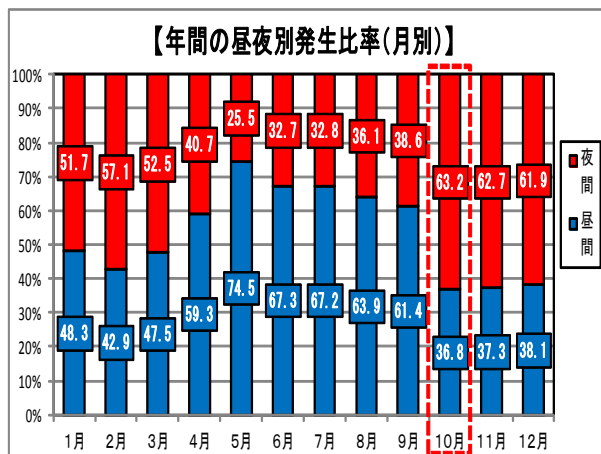
交通死亡事故は、月ごとに発生傾向が異なっています。本注意報は、平成20年から平成29年までに県内で発生した交通死亡事故等について調査・分析し、当該月の発生傾向を公表することにより、交通死亡事故の抑止に役立ててもらおうとするものです。

### 10月予報(発生傾向)

#### 1 10月から夜間の事故比率が増加

死亡事故の昼夜別発生比率は、4月から9月までは昼間が高く、10月から年末に掛けては反対に夜間が60%台と大きく増え、逆転します。

10月は、日没時間が早くなります。夕暮れ時は、周囲が見えにくくなるので、早目に車のライトを点灯し(午後4時ライトオン)、スピードを抑え、横断歩行者等の早期発見に努めましょう。



#### 2 歩行者事故が午後5時台から午後6時台に掛けて多発

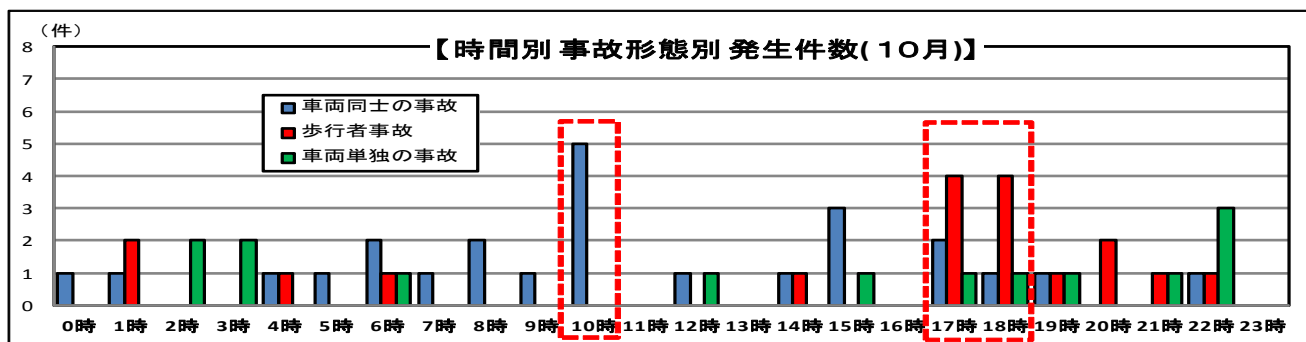
10月は、午後5時台から午後6時台に掛けて65歳以上の高齢者等が被害者となる歩行者事故が多発します。歩行者は、横断歩道、信号機等を利用した正しい横断に努め、道路を横断するときは、左右の安全をしっかりと確認し、特に横断時の後半は、左側から来る車両をもう一度確認しましょう。夜間は白や黄色などの目立つ色の服を着用し、反射材やLEDライトの有効活用に努めましょう。

#### 3 車両同士の事故が午前10時台に多発

10月は、午前10時台に出会い頭等の車両同士の事故が多発します。交差点では、必ず安全を確認しましょう。

#### 4 死亡事故多発日

10月は、31日が死亡事故の多発日となります。



～ 早めのライト点灯 反射材でライトアップ ライト(右側)注意 ～

# 11月

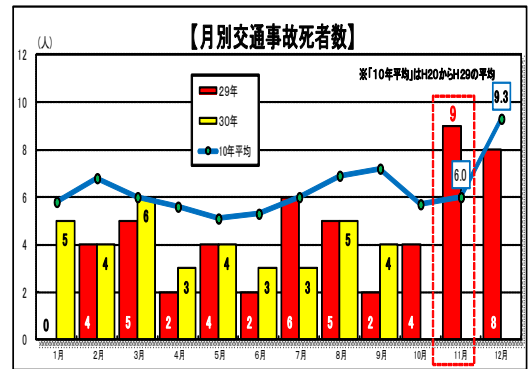
## 交通死亡事故発生注意報(予報)

交通死亡事故は、月ごとに発生傾向が異なります。本注意報は、平成20年から平成29年までに県内で発生した交通死亡事故等について調査・分析し、当該月の発生傾向を公表することにより、交通死亡事故の抑止に役立ててもらおうとするものです。

### 1 1月予報(発生傾向)

#### 1 昨年の11月は8件の死亡事故が発生

平成29年11月は、歩行者が死亡する交通事故が6件と多発し、計8件の死亡事故が発生。65歳以上の高齢歩行者4人を含む9人の方が亡くなられ、年間で最も死者数の多い月となりました。



#### 2 16時台から19時台に歩行者事故が多発

11月は、日没時間が午後4時台と早まることから、同時間帯から午後7時台に歩行者事故が多発し、そのうち高齢歩行者の割合が87%となっています。

車を運転する際は、上向きライトが基本です。早めにライトを点灯し(午後4時ライト・オン)、スピードを抑え、横断歩行者等の早期発見に努めましょう。

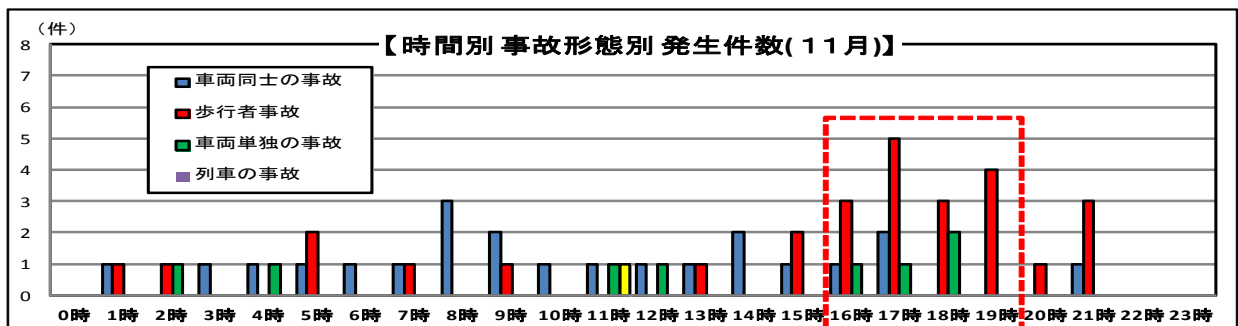
歩行者は、横断歩道、信号機等を利用した正しい横断に努め、道路を横断する時は、左右をしっかりと確認し、特に横断時の後半は、左側から来る車両をもう一度確認しましょう。車両の運転者に自分の存在を知らせ、注意喚起を図るため、夜間は、反射材やLED安全ライト等を装着し、白や黄色の明るい目立つ色調の衣服を着用しましょう。

#### 3 スタッドレスタイヤ装着等早めの雪道対策を

仙台市内では、例年11月に初雪が降ります(昨年は11月23日)。平成25年(11月11日初雪)には、11月13日(午前5時30分)に仙台市青葉区内で軽貨物車と中型貨物車が正面衝突する滑走死亡事故が発生しています。スタッドレスタイヤ装着やタイヤチェーンの準備等早めの雪道対策を行いましょう。

#### 4 死亡事故多発日

11月は、5日、7日、13日、21日、24日、28日及び30日が、死亡事故の発生が多い「死亡事故多発日」になります。



～ 早めの点灯 午後4時 ライト・オン! ～